

伝統的居住文化再生・利活用ワークショップ 北タイを襲った壊滅的洪水からの復興

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年03月18日 ～2025年03月27日	タイ	チェンマイ大学 メージョー大学	・建築学科、建築学専攻 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生19名、学生バイト2名、 教員1名 (チェンマイ大学) 学生12名、教員1名 (メージョー大学) 学生12名、教員1名	清水 郁郎(建築学科)



グループ写真

今回のWSでは、ふたつのプログラムを実施した。前半では、チェンマイから南に約40キロ離れた農村で2019年から開設したエコミュージアムの中心施設であるタイクーン族文化センター(ミュージアム)の改修である。とくに、シロアリの被害が大きい屋根材の修復、屋根に葺く素焼きの瓦の葺き直し、また、過去2年の洪水で被災した博物館施設の再生、展示物の再生、説明ボードの修復などを、村に滞在しながら実施した。後半では、建都730年を迎え、世界遺産へのノミネートを申請したチェンマイ旧市街で、ラムチャンとチェンマン地区を観光や開発とバランスをとりながらどのように持続させるかを、デザイン・サーヴェイに基づきながら調査し、計画案としてまとめた。短い時間ながら質の高い図面やプレゼンボードを作成し、最終成果発表会を、チェンマイ文化芸術館で実施し、活発なディスカッションを行った。



村で泥に埋まった展示物を再生する



ミュージアムの屋根を葺きなおす作業



最終日、村人が伝統的儀礼と食事でもてなしてくれた



水に浸かって劣化した説明用のボードの再生



後半課題のデザイン・サーヴェイ



成果報告会